

令和7年度 学校推薦型選抜 人間健康科学部 スポーツ健康科学科 小論文  
出題の意図と解答の傾向

設問1

**【出題の意図】**

「無意識のうちに陥る落とし穴」について課題文章全体を読み取ることが求められる。基準としている値の多くは、平均値であること。人間の値は、個々で異なり、平均値では表せない。また、その食品の効果あるように、見せている可能性があることを抽出し、まとめる能力を確認する問題である。

**【解答の傾向】**

多くの解答は、設問内容を理解し、まとめている。しかしながら、設問文をそのまま、書き写している傾向が見られた。また、要約されていない解答も見られた。

設問2

**【出題の意図】**

我々の社会では、さまざまな物事が標準化されている。①標準化された教育プログラム、標準化された勤務形態、標準化された政策、標準化された治療法など、どれもそれぞれの人間の多様性を考慮し損ねている。②個々の人間を見ず、全員を「平均値」として扱っている。③多様性を見過ごせば、多様性のメリットは得られない。④人間は、ひとり一人みな違う。体格も、知能も、長所も、短所も、経験も、趣味も、あらゆることが異なる。

このような事例について解答している点を評価基準としている。

また、作文用紙の使い方、小論文の構成・誤字脱字、論理性、対立意見、興味関心にて評価した。

**【解答の傾向】**

設問文を解答に記入している文章が多く見られた。また、同じ言葉を繰り返し記述したり、個人的な経験談のみを述べていたり、設問の解答になっていないものがあった。